

F-2 : 研究プロジェクトのマネージメント

開催日時・会場 9月18日(金曜日) 13:45 - 15:15 会場B

"100人論文"を異分野融合の加速に活用する

大学の研究活性化、特に異分野融合研究創出を目指す取り組みとして、近年、複数の大学が「京大100人論文」企画に注目し模倣した活動を開始している。本セッションでは企画の実施経験がある機関が登壇し、「京大100人論文」形式をなぜ取り入れ、どのような試行錯誤を行い、企画実施によりどのような効果が得られているかを、具体的な実施方法も含めて事例共有する。登壇者や参加者との意見交換を通して企画の課題や改善点を見出すと共に、今後この企画の実施を検討している機関にとって有益な情報を提供する場としたい。

セッション担当者

津村 明子:横浜国立大学 研究推進機構

特任教員(准教授)／リサーチ・アドミニストレーター(URA)

博士号(薬学)取得後、生命科学分野の研究者として研究に従事。2012年より大阪大学大型教育研究プロジェクト支援室/免疫学フロンティア研究センターにて研究支援の仕事に携わる。2017年より現職。研究広報を主に担当するほか、研究者マッチングイベント企画、外部資金獲得支援等の研究推進活動に関与。

登壇者



新道 真代：筑波大学 URA研究戦略推進室
チーフ

筑波大学、東京大学を経て、総合研究大学大学院にて博士号(理学)を取得。専門は発生生物学。ポスドク、経営コンサル、ベンチャーキャピタル、バイオベンチャーで勤務を経て現職。ブランディング、マーケティング、出版(e-book含)、webシステム開発、動画制作、各種イベントの企画・実施に携わる間に起業～廃業まで経験する。筑波大100人論文は良縁向上・労力軽減形へ進化中。今年は茨城大学と共同開催です！



長谷川 佐知子：新潟大学 研究企画室(経営戦略本部学長室兼務)
主任URA

住友商事で10年間、有機化学品貿易の営業アシスタントを務める。退職後は、英国留学、本田技研工業での新規海外販売プロジェクトを経験。結婚を機に新潟に転居。2009年より新潟大学で産学官連携戦略展開事業に従事した後、2012年よりURAに。外部資金獲得支援のほか、研究推進のための企画運営を担当。2018年より経営戦略本部学長室兼務。



舘 正一：関西大学 大学本部URA
上級リサーチ・コーディネーター

学生時代にデザイン会社を起業。その後、大手広告代理店にて広報・広告の企画に従事。2016年より関西大学学長室リサーチ・コーディネーター(イベント・コーディネーター/サイエンス・コミュニケーター)着任。文科省私立大学ブランディング事業においてブランディングの戦略立案、ディレクションに携わる。研究広報という視点で大学広報、研究戦略の業務全般に従事。